

財政事情の公表

平成22年度 下半期

表1：一般会計の執行状況

(単位：千円、%)

費目	予算現額	収入済額 (執行率)
歳入	37,904,074	30,468,858 (80.4)
市税	12,967,071	12,692,587 (97.9)
市債	6,167,400	1,933,200 (31.3)
国庫支出金	5,961,751	5,090,567 (85.4)
地方交付税	5,986,473	6,030,088 (100.7)
府支出金	2,401,305	1,437,717 (59.9)
使用料及び手数料	734,246	611,512 (83.3)
諸収入	473,481	405,955 (85.7)
分担金及び負担金	376,523	338,577 (89.9)
その他	2,835,824	1,928,655 (68.0)
費目	予算現額	支出済額 (執行率)
歳出	37,904,074	32,893,064 (86.8)
民生費	13,219,150	12,422,521 (94.0)
土木費	4,912,340	4,471,170 (91.0)
衛生費	4,494,145	3,838,293 (85.4)
公債費	4,505,806	4,445,979 (98.7)
総務費	4,477,186	2,687,712 (60.0)
教育費	3,831,692	2,993,991 (78.1)
消防費	1,201,361	1,067,444 (88.9)
その他	1,262,394	965,954 (76.5)

表2：特別会計・水道事業会計の執行状況

(単位：千円、%)

会計名	歳入		歳出	
	予算現額	収入済額 (執行率)	予算現額	支出済額 (執行率)
特別会計	25,809,784	21,823,813 (84.6)	25,809,784	23,007,619 (89.1)
国民健康保険事業	12,750,671	11,039,554 (86.6)	12,750,671	11,679,028 (91.6)
土地取得	246,689	216,689 (87.8)	246,689	216,689 (87.8)
部落有財産	794	793 (99.9)	794	0 (0.0)
下水道事業	4,041,350	2,512,545 (62.2)	4,041,350	3,229,935 (79.9)
老人保健医療	6,332	2,336 (36.9)	6,332	2,161 (34.1)
介護保険	7,344,331	6,776,949 (92.3)	7,344,331	6,697,023 (91.2)
後期高齢者医療	1,419,617	1,274,947 (89.8)	1,419,617	1,182,783 (83.3)
水道事業会計	2,583,610	2,521,018 (97.6)	3,654,597	3,180,751 (87.0)
水道事業会計(収益的収支)	2,354,454	2,342,836 (99.5)	2,329,454	2,249,732 (96.6)
水道事業会計(資本的収支)	229,156	178,182 (77.8)	1,325,143	931,019 (70.3)

表3：市債・基金の状況

(単位：千円)

種類	金額	主な使い道
市債	60,656,590	
臨時財政対策債等	12,943,432	財源不足への対応
通常の建設地方債	20,225,608	教育・福祉施設等整備事業債など
下水道事業債	27,487,550	下水道事業
基金	11,903,402	
財政調整基金	2,610,903	財源不足への対応
減債基金	2,574,764	借金の返済
普通建設事業基金	1,728,201	一般建設事業
その他特定目的基金	4,989,534	消防防災拠点施設建設基金など

※市民一人当たりの市債の額は528,764円、基金の額は103,766円です。

ここでは、今年3月末までの予算の執行状況および市の財産の状況についてお知らせします。

一般会計・特別会計と水道事業会計の状況

平成22年度一般会計予算は359億1千305万9千円(繰り越し予算含む)でスタートしましたが、19億9千101万5千円を増額補正し、最終的には379億407万4千円になりました。

最終予算現額に対する3月31日までの執行状況は、表1の

とおりです。また、全体の執行割合は歳入が80.4%、歳出が86.8%となつています。なお、市民一人当たりの市税負担額は11万3千802円(二世帯当たりでは27万9千802円)です。

また、市では一般の歳入歳出と分けて経理する必要のある7つの特別会計と、公営企業として水道事業会計を設けています。これらの収支の状況は表2のとおりです。

金である市債の状況は表3のとおりです。なお、一時借入金(一時的な現金の不足を補うための借金)の借り入れは行いませんでした。また、市の財産(土地・建物)は、土地が289万8千275平方メートル、建物が26万3千154平方メートルとなっています。

財政健全化に努め 新たな需要にも対応

このような財政状況の中、市では平成22年度下半期でも、財政健全化に努める一方、「教育」

※文中や各表の数値は、平成23年3月31日現在のものです。会計年度は終わっていませんが、5月31日まで出納の整理を行いますので、平成22年度決算の数値とは一致しません。

「経済」「環境」「健康」の「4つのK施策」などに取り組み、適切に対応しました。お問い合わせ 財政課